

コメ先物 実需者向けレポート〔No.13 〕

大阪堂島商品取引所

〔公表日：2013.03.29〕

項目

1 現物受渡し等

- 1.1 本月の現物受渡し
- 1.2 現物受渡し(過去データ)
- 1.3 受渡制度等について

2 ヘッジ(価格変動リスクに備える)

- 2.1 ヘッジの概要
- 2.2 ヘッジ例

3 現物価格と先物価格

- 3.1 東京コメ(標準品現物価格と先物価格)
- 3.2 大阪コメ(標準品現物価格と先物価格)

4 価格調整表の使い方

- 4.1 受渡値段の算出
- 4.2 現在価値の算出

作成基準日:東京コメ2013年3月19日
:大阪コメ2013年3月8日

参考

- 参1 取引要綱
- 参4 米穀の期日受渡しに関するタイムスケジュール
- 参5 米穀の早受渡しに関するタイムスケジュール

*本レポートに関するデータは一般紙、業界紙等の媒体を通じて公表されているものを一部使用しております。又、掲載情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性を保証するものではありません。利用者がレポートの情報をを用いて行う一切の行為について本所は何ら責任を負うものではありません。記載されている内容は作成時におけるものであり、将来のいて事前の予告なしに変更される場合がありますのでご了承ください。

1 現物受渡し等

1.1 本月の現物受渡し

東京コメ

単位(枚):取引単位

限月		銘柄	取引枚数			備考
			産地	枚数	玄米重量	
2013年 (平成25年)	3月限	コシヒカリ	新潟県	2	12トン	
		コシヒカリ	新潟県産(2等)	10	60トン	

大阪コメ

単位(枚):取引単位

限月		銘柄	取引枚数			備考
			産地	枚数	玄米重量	
2013年 (平成25年)	3月限	コシヒカリ	福島県中通り産	8	24トン	合意早受渡し

注1: 取引枚数1枚は、東京コメは6トン、関西コメは3トンである。

注2: 特に記載のない限り1等である。

1 現物受渡し等

1.2 現物受渡し過去データ(東京)

東京コメ

限月		銘柄	産地		取引枚数	玄米重量	備考
			産地	産年			
2011年 (平成23年)	11月限	コシヒカリ	茨城県産	2011	8枚	48トン	うち、2枚(12トン)は早受渡し
		コシヒカリ	福島県会津産	2011	10枚	60トン	
	12月限	はえぬき	山形県産	2011	10枚	60トン	早受渡し
		コシヒカリ	福島県中通り産	2011	112枚	672トン	
2012年 (平成24年)	1月限	コシヒカリ	福島県中通り産	2011	30枚	180トン	うち、24枚(144トン)は早受渡し
	2月限	コシヒカリ	福島県中通り産	2011	20枚	120トン	うち、14枚(84トン)は早受渡し
	3月限	コシヒカリ	福島県中通り産	2011	32枚	192トン	早受渡し
		コシヒカリ	福島県会津産	2011	18枚	108トン	
	4月限	コシヒカリ	福島県会津産	2011	26枚	156トン	うち、8枚(48トン)は早受渡し
	5月限	コシヒカリ	福島県会津産	2011	6枚	36トン	
	6月限	コシヒカリ	福島県浜通り産	2011	2枚	12トン	合意早受渡し
		コシヒカリ	福島県会津産	2011	48枚	288トン	うち、22枚(132トン)は早受渡し
		コシヒカリ	新潟県産	2011	8枚	48トン	うち、2枚(12トン)は早受渡し
	7月限	コシヒカリ	福島県会津産	2011	28枚	168トン	早受渡し
		コシヒカリ	新潟県産	2011	12枚	72トン	
		コシヒカリ	新潟県産(2等)	2011	2枚	12トン	
	8月限	コシヒカリ	新潟県産	2011	14枚	84トン	
	9月限	コシヒカリ	新潟県産	2011	10枚	60トン	
	10月限	コシヒカリ	新潟県産	2011	6枚	36トン	
		コシヒカリ	新潟県産	2012	12枚	72トン	
		コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	18枚	108トン	
	11月限	コシヒカリ	新潟県産	2012	8枚	48トン	
コシヒカリ		新潟県産(2等)	2012	18枚	108トン		
12月限	コシヒカリ	新潟県産	2012	4枚	24トン		
2013年 (平成25年)	1月限	コシヒカリ	福島県中通り産	2012	2枚	12トン	合意早受渡し
		コシヒカリ	新潟県産	2012	2枚	12トン	
	2月限	コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	2枚	12トン	
	3月限	コシヒカリ	新潟県産	2012	2枚	12トン	
	3月限	コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	10枚	60トン	

1 現物受渡し等

1.2 現物受渡し過去データ(大阪)

大阪コメ

限月		銘柄	産地		産年	取引枚数		備考
							玄米重量	
2011年 (平成23年)	11月限	コシヒカリ	埼玉県産		2011	10枚	30トン	
		コシヒカリ	福島県会津産		2011	4枚	12トン	
	12月限	コシヒカリ	福島県会津産		2011	5枚	15トン	
2012年 (平成24年)	1月限	コシヒカリ	福島県会津産		2011	39枚	117トン	
		コシヒカリ	福島県中通り産		2011	17枚	51トン	
	2月限	コシヒカリ	福島県会津産		2011	52枚	156トン	うち、2枚(6トン)は早受渡し
		コシヒカリ	福島県中通り産		2011	90枚	270トン	うち、83枚(249トン)は早受渡し
	3月限	コシヒカリ	福島県中通り産		2011	12枚	36トン	うち、4枚(12トン)は早受渡し
		コシヒカリ	福島県会津産		2011	18枚	54トン	
	4月限	コシヒカリ	福島県中通り産		2011	9枚	27トン	うち、4枚(12トン)は早受渡し
		コシヒカリ	福島県会津産		2011	20枚	60トン	
	5月限	コシヒカリ	福島県中通り産		2011	1枚	3トン	
		コシヒカリ	福島県会津産		2011	8枚	24トン	
		コシヒカリ	埼玉県産		2011	1枚	3トン	
	6月限	コシヒカリ	福島県会津産		2011	10枚	30トン	
	7月限	コシヒカリ	福島県会津産		2011	2枚	6トン	
	8月限	コシヒカリ	新潟県産		2011	4枚	12トン	うち、2枚(6トン)は早受渡し
		コシヒカリ	新潟県産(2等)		2011	2枚	6トン	うち、1枚(3トン)は早受渡し
	10月原	コシヒカリ	新潟県産		2011	28枚	84トン	
		コシヒカリ	新潟県産		2012	4枚	12トン	
		コシヒカリ	石川県産		2012	16枚	48トン	うち、16枚(48トン)は早受渡し
11月原	コシヒカリ	新潟県産		2012	25枚	75トン		
12月原	コシヒカリ	新潟県産		2012	1枚	3トン		
2013年 (平成25年)	1月限	コシヒカリ	新潟県産		2012	2枚	6トン	
	1月限	コシヒカリ	新潟県産(2等)		2012	2枚	6トン	
	2月限	コシヒカリ	新潟県産		2012	3枚	9トン	
	2月限	コシヒカリ	新潟県産(2等)		2012	1枚	3トン	
	3月限	コシヒカリ	福島県中通り産		2012	8枚	24トン	合意早受渡し

1 現物受渡し等

1.3 現物受渡し制度等(解説)

【期日受渡し】

期日受渡しは、受渡しの基本的な方法で、取引所が指定する営業倉庫が発券する「倉荷証券」を用いて行います。渡方は、取引所に「倉荷証券」を持ち込み、受方は取引所に「受渡代金」を納め、取引所がこれらを仲介して、受渡しを完了させます。

【早受渡し】

早受渡しとは、受渡日以前でも、取引所に希望条件(年産・産地品種銘柄・等級等)を申し出ることによって、受渡しを可能(早受希望・早渡希望)にする制度です。この希望条件は公表され、応諾する方があれば、受渡しが成立します。(受渡しの流れは期日受渡しと同様です。)

【合意受渡し】

渡方と受方が合意することを条件に、双方の責任の下、自由に受渡しをする制度です。この制度を利用すれば、倉荷証券以外の受渡方法や、受渡供用品以外のコメを対象とするなど、双方が使い易い受渡条件の下で受渡しをすることが可能になります。

【早合意受渡し】

受方と渡方が合意することを条件に、新甫発会日の翌営業日から納会日の前営業日までのおよそ半年間にわたり、いつでも受渡しを行うことができる制度です。この制度を利用すれば、倉荷証券以外の受渡方法や、受渡供用品以外のコメを対象とするなど、双方が使い易い受渡条件の下で受渡しをすることが可能になります。

【EFP取引】

現物を扱う実需者は、市場外で行った現物売買契約をもとに、合意に基づくEFP取引の申し出(先物市場における同一価格、同一限月、同一数量の売注文及び買注文)を取引所に行うことで、先物市場での取引を成立させることが可能となります。

EFP取引は、(1)先物市場で効率的なヘッジ取引(又は市場離脱)を実現、(2)オーダーメイドの受渡しを実現する等、実需者にとっては非常に利便性の高いシステムです。

2 ヘッジ(価格変動リスクに備える)

2.1 ヘッジの概要

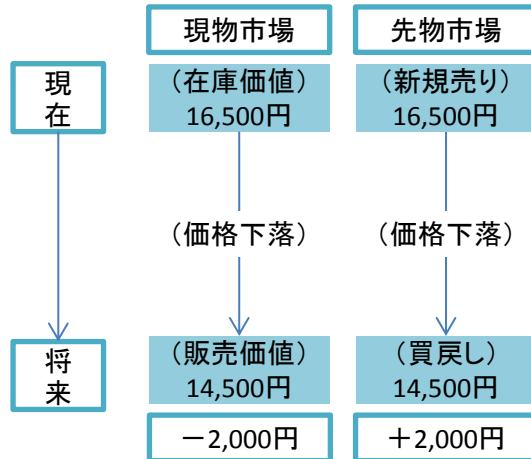
【ヘッジ】

ヘッジとは、先物市場を利用することで、将来の価格変動による損失を最小限に抑えようとするリスクマネジメント手法の一つであり、いわば価格変動リスクに対する**保険機能**とご理解ください。

具体的には、在庫価値等の減少に備えるなら「売りヘッジ」、仕入れコストの高騰に備えるなら「買いヘッジ」で対応します。

現物市場と先物市場の損益を合計することでリスク相殺をすることが出来ます。

以下は、将来のコメ価格の下落リスクに備えた「売りヘッジ」を表しています。



※買いヘッジは、上記の逆となります。

納会を終えたばかり東京コメ2013年3月限のデータに基づき計算した、建玉1枚(=コメ6000kg)あたりの取引例となります。

もし「買いヘッジ」をしていれば・・・

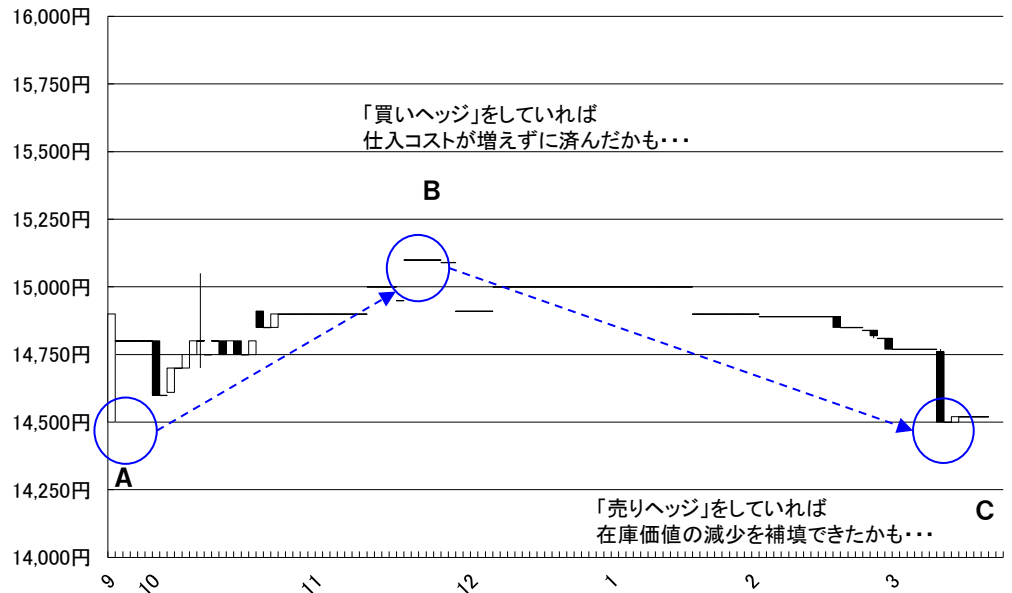
もし「売りヘッジ」をしていれば・・・

	2013年3月限
新甫発会値	14,500円
高値	15,100円
安値	14,500円
納会値	14,520円

日付(取引区分)	約定値
A '12.9.21 (新規買い)	14,500円
B '12.11.09 (転売)	15,100円
騰落率	4.1%
決済差金 (1俵)	600円
A-B (1枚)	60,000円

日付(取引区分)	約定値
B '12.11.09 (新規売り)	15,100円
C '12.3.14 (買戻し)	14,520円
騰落率	-3.8%
決済差金 (1俵)	580円
C-B (1枚)	58,000円

※1俵は60kgあたりの差益、1枚は6000kgあたりの差益のこと。

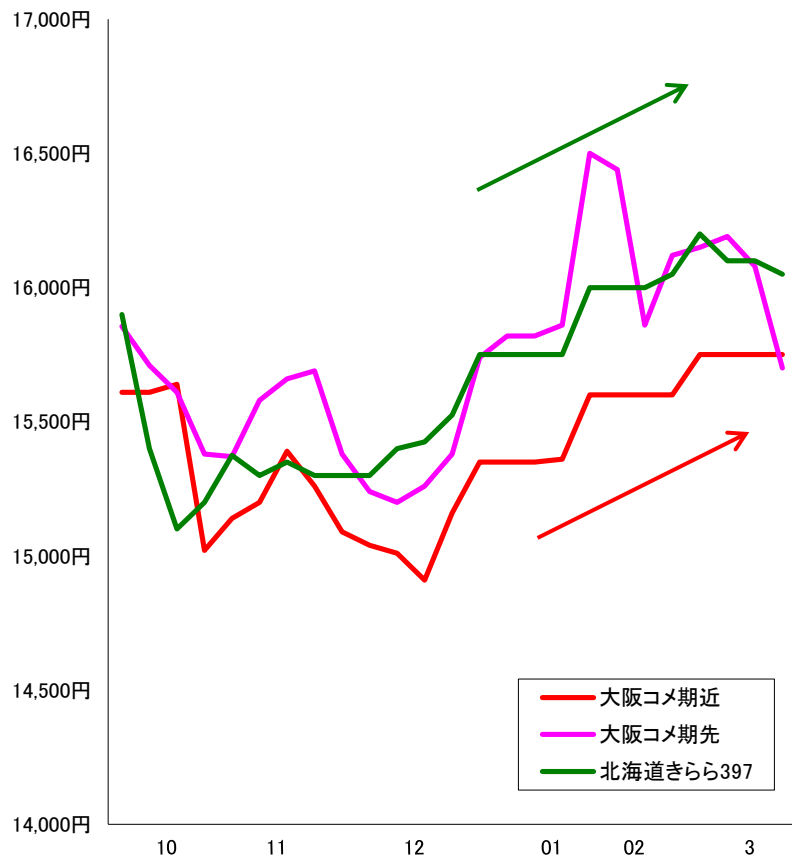


2 ヘッジ(価格変動リスクに備える)

2.2 ヘッジ例

大阪コメは、全国のコシヒカリを受渡の対象としています。ここでは、コシヒカリ以外の現物相場(北海道きさら397)と先物相場の関係性を見ながら、ヘッジシミュレーションを行うこととします。

北海道きさら397



'12年9月～'13年3月の間の大阪コメと北海道きさらの価格データ(週間中央値、25週分)をもとに関係性を見ていくこととします。

両者の価格相関は、大阪コメ期近0.84、大阪コメ期先0.85となっています。また、直近12週の期間騰落率は、北海道きさら1.9%、大阪コメ期近2.6%、大阪コメ期先-0.3%となっています。

左グラフ(価格推移)によると大阪コメと北海道きさらのトレンドは近似しているように見えることから、北海道きさらの価格変動リスクに対し、コメ先物取引は一定のヘッジ機能があると考えられます。

下表は、'13年12月～'13年3月のデータ(14週分)をもとに作成した「北海道きさら397」の買いヘッジ計算例となります。

	現物相場	先物相場	
	北海道きさら397	大阪コメ(期近)	大阪コメ(期先)
'12年12月	15,425円	14,910円	15,260円
[第1週]	[現物調達計画]	[買いヘッジ]	[買いヘッジ]
'12年03月	16,050円	15,750円	15,700円
[第2週]	[現物調達]	[差金決済]	[差金決済]
損益	-625円	840円	440円
騰落率	4.1%	5.6%	2.9%

※売りヘッジは、上記の逆となります。

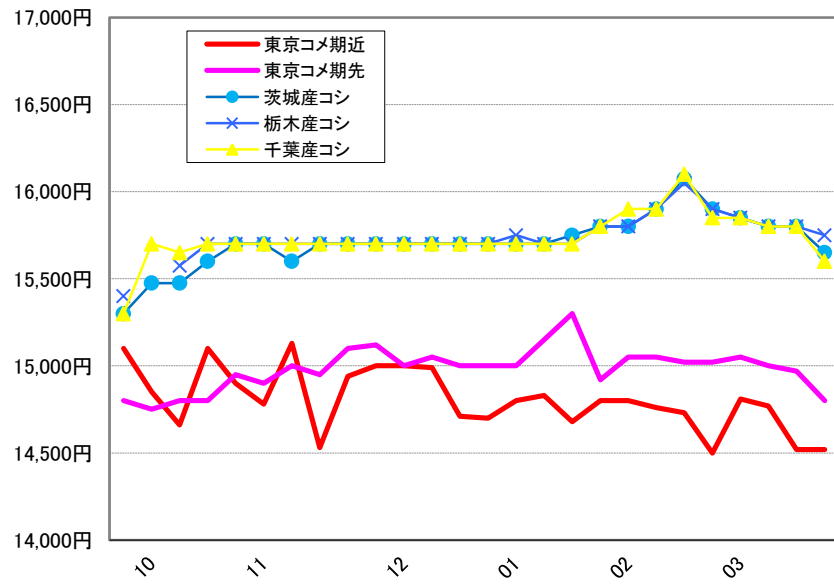
「北海道きさら397」の買いヘッジ大阪コメ先物を利用した結果・・・在庫価値の減額分(-625円)を先物差金(期近840円、期先440円)で補うことができました。

上記のヘッジ例は、コシヒカリ以外のコメのヘッジに大阪コメが対応できるか否かを見ています。但し、任意のヘッジ対象品種銘柄と大阪コメの関係性については、計測期間によって変化するため、直近の状況だけでなく、中長期的な観察が必要であると考えています。

3 現物価格と先物価格

3.1 東京コメ(標準品現物価格と先物価格)

価格推移(週間)



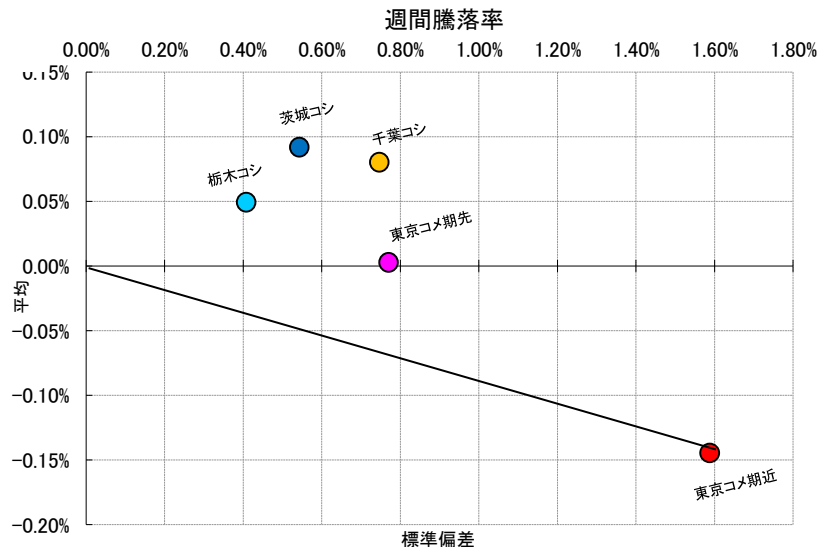
直近の価格推移(左上)によると、東京コメ期近は茨城コシ(標準品)より、1,130円下、期先は850円下に位置し、栃木コシ(標準品)には、期近が1,230円下、期先が920円下に、千葉コシ(標準品)には、期近が1,080円下、期先は800円下に位置しています。

直近6か月間の週間騰落率(右下)によるとの、茨城、栃木及び千葉コシの騰落率(平均)は、プラス圏にありますが、期近はマイナス圏にあります。今後、現物価格が先物価格の動きに追随するのか否か、観察を続けていきたいと思えます。

直近の期間騰落率(左下)によるとコメ先物、茨城、栃木及び千葉コシの価格は、横ばい傾向から緩やかな下落傾向にあるようです。

直近の期間騰落率(基準: '13年3月第4週)

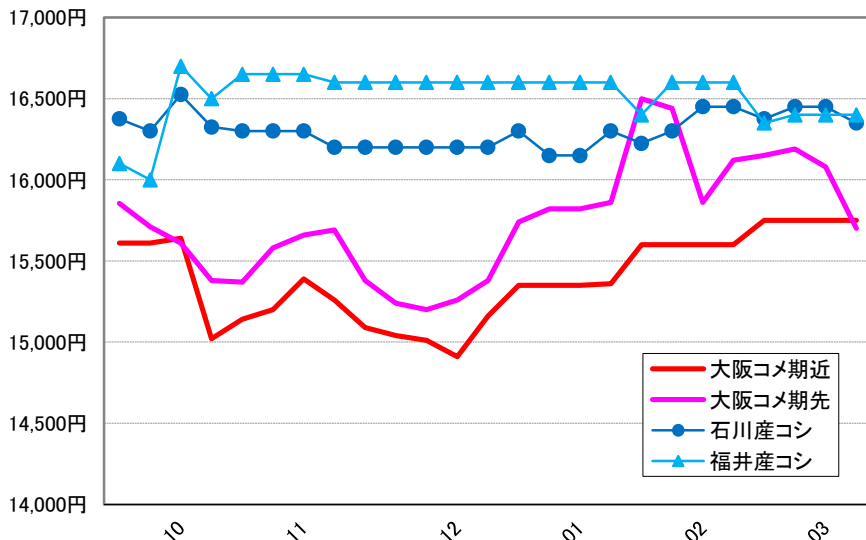
	4週	8週	12週	24週
東京コメ期近	-2.0%	-1.9%	-1.9%	-1.0%
東京コメ期先	-1.7%	-1.7%	-1.3%	0.0%
茨城産コシ	-1.3%	-0.9%	-0.3%	1.1%
栃木産コシ	-0.6%	-0.3%	0.0%	1.1%
千葉産コシ	-1.6%	-1.9%	-0.6%	-0.3%



3 現物価格と先物価格

3.2 大阪コメ(標準品現物価格と先物価格)

価格推移(週間)



直近の価格推移(左上)によると、大阪コメ期近は、石川コシ(標準品)より、600円下、期先は650円下に位置し、福井コシ(標準品)に対しては、期近が650円下、期先が700円下に位置しています。

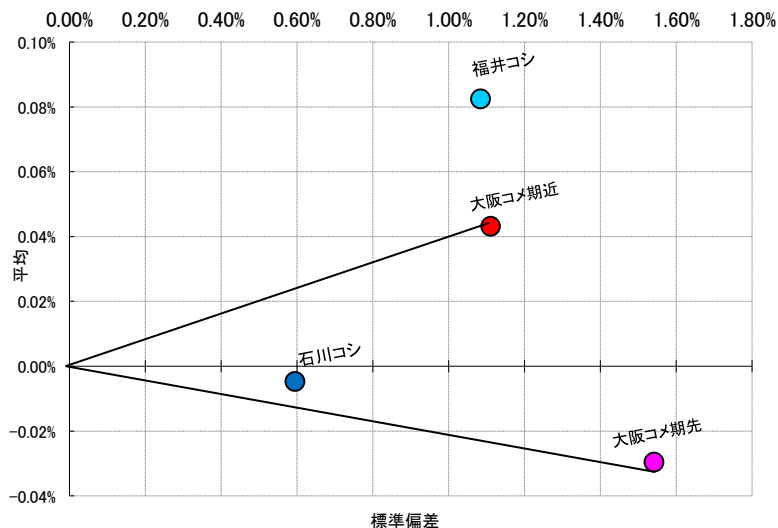
直近6か月間の週間騰落率(右下)によると、石川、福井両県のコシヒカリ及びコメ先物の騰落率(平均)は、先月からマイナス幅を縮めています。また、福井コシとコメ期近はプラス圏に転じています。

直近の期間騰落率(左下)によると石川、福井両県のコシヒカリ及びコメ先物期近の価格は、横ばい傾向から緩やかな上昇傾向が見受けられますが、期先は下落基調が伺えます。

直近の期間騰落率(基準: '13年3月第2週)

	4週	8週	12週	24週
大阪コメ期近	0.0%	1.0%	2.6%	0.9%
大阪コメ期先	-2.8%	-4.8%	-0.3%	-0.1%
石川産コシ	-0.2%	0.8%	0.3%	0.3%
福井産コシ	0.3%	0.0%	-1.2%	2.5%

週間騰落率



4 価格調整表の使い方

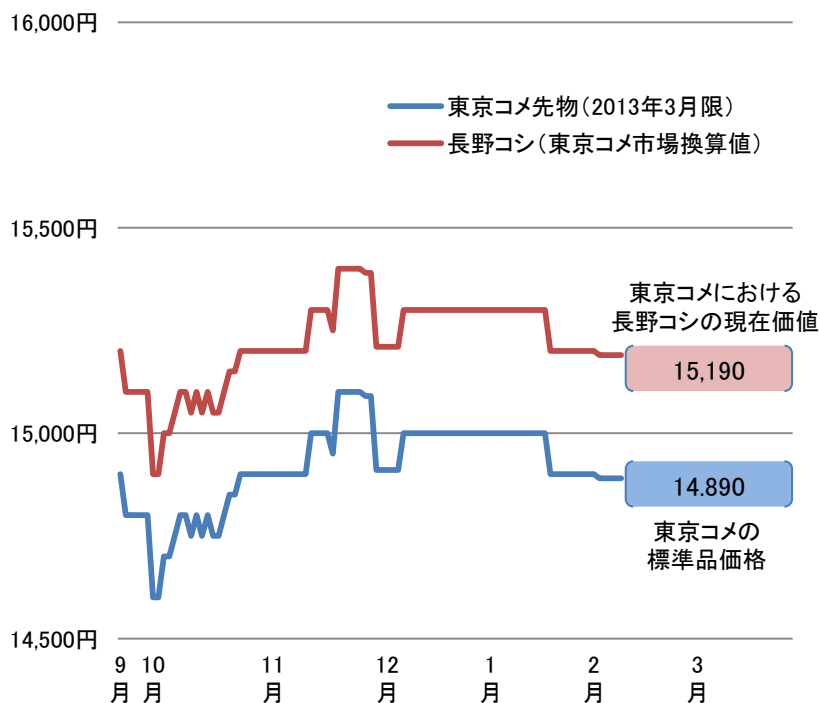
4.1 受渡値段の算出

東京コメの先物価格を基に〇〇県産コシヒカリの価格(現在価値や受渡値段)を算出する。

- ・東京コメの先物価格(60kgあたり)は、標準品を「茨城県産、栃木県産及び千葉県産のコシヒカリ」としています。
- ・先物取引は限月取引(最終期限がある取引)です。各限月の納会値段は標準品の受渡値段となります。
- ・標準品以外のコシヒカリを受渡しする場合は、本所が定める価格調整表に則って受渡値段を決定します。
- ・例えば、「2012年(平24)年産1等・長野県産コシヒカリ」の受渡値段なら、東京コメの納会値段から300円の増額をします。

4.2 現在価値の算出

【参考】価格調整表より一部抜粋(平成24年産1等)



東京コメ				大阪コメ			
産地	品種銘柄	調整額 a	調整額 b	産地	品種銘柄	調整額 a	調整額 b
茨城	コシヒカリ	標準品	標準品	石川	コシヒカリ	標準品	標準品
栃木				福井			
千葉		新潟	1,300	800			
福島 会津		100	500	福島 会津		100	100
福島 中通り		-1,500	-500	福島 中通り		-1,000	-1,000
福島 浜通り		-1,500	-500	福島 浜通り		-1,000	-1,000
新潟		2,000	2,000	茨城		-800	-800
富山		600	600	栃木		-800	-800
石川		300	300	千葉		-800	-800
福井		300	300	長野		-200	-200
長野	300	300	富山	100	100		
その他府県	-300	-300	三重	-300	-300		
岩手	ひとめぼれ	-400	-400	滋賀	-300	-300	
宮城		-400	-400	京都	-300	-300	
秋田	あきたこまち	-200	-200	兵庫	-300	-300	
山形	はえぬき	-600	-600	鳥取	-300	-300	
北海道	ななつぼし	-1,000	-1,000	島根	-300	-300	
	きらら397	-1,000	-1,000	岡山	-300	-300	
青森	つがるロマン	-1,000	-1,000	山口	-300	-300	
	まっしぐら	-1,000	-1,000	熊本	0	0	
調整額 a: 2013(平25)年1月限~3月限迄適用				調整額 a: 2013(平25)年4月限~6月限迄適用			
調整額 b: 2013(平25)年4月限以降適用				調整額 b: 2013(平25)年7月限~9月限迄適用			

参 考

参1 取引要綱

東京コメ

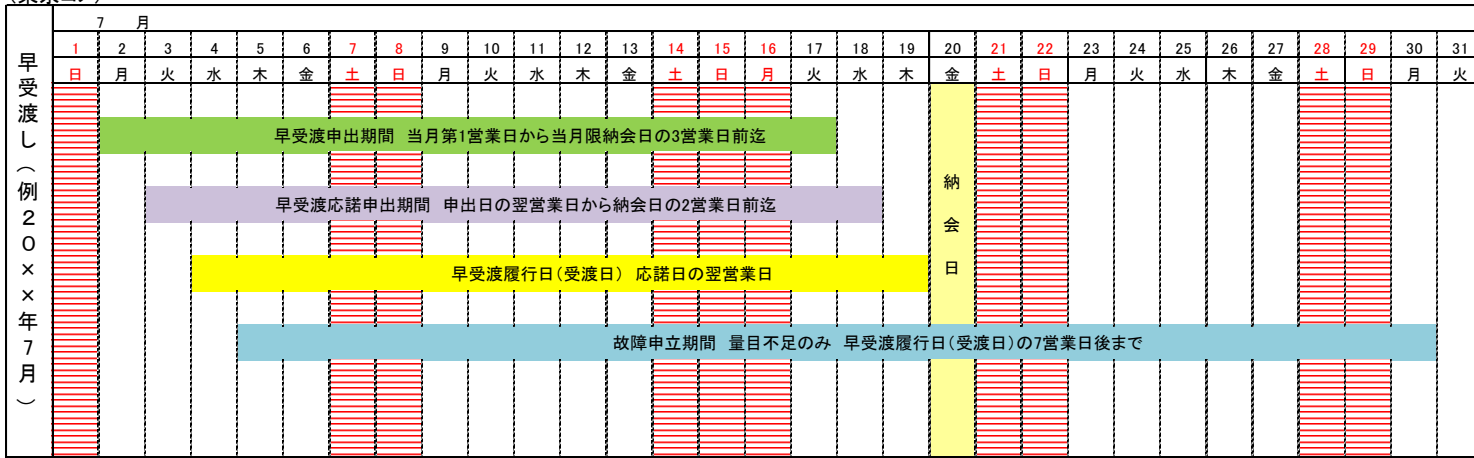
大阪コメ

市 場	農産物市場	農産物市場
商 品	東京コメ	大阪コメ
標 準 品	コシヒカリ(茨城県産、栃木県産及び千葉県産)のうち、米穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律(平成21年法律第26号)に基づく記録がなされかつ産地情報の伝達が可能な米穀であって、農産物検査法に基づく検査規格水稲うるち玄米1等合格品	コシヒカリ(石川県産及び福井県産)のうち、米穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律(平成21年法律第26号)に基づく記録がなされかつ産地情報の伝達が可能な米穀であって、農産物検査法に基づく検査規格水稲うるち玄米1等合格品
受 渡 供 用 品	コシヒカリ(福島(中通り・浜通り・会津)、新潟、富山、石川、福井、長野、その他府県産)、ひとめぼれ(岩手、宮城)、あきたこまち(秋田)、山形はえぬぎ、北海道なつぼし・きらら397、青森つがるロマン・まっしぐら	コシヒカリ(新潟、福島(会津・中通り・浜通り)、茨城、栃木、千葉、長野、富山、三重、滋賀、京都、兵庫、鳥取、島根、岡山、山口、熊本、その他府県産)
売 買 仕 法	システム売買による単一約定値段による競争売買(板寄せ)	システム売買による単一約定値段による競争売買(板寄せ)
限 月	6か月以内の各限月(連続6限月制)	6か月以内の各限月(連続6限月制)
納 会 日	当月限の属する月の20日(毎月20日、当日が休業日の場合は繰り上げる。)	当月限の属する月の10日(毎月10日、当日が休業日の場合は繰り上げる。)
新 甫 発 会 日	当月限納会日の翌営業日	当月限納会日の翌営業日
受 渡 日	納会日の5営業日後	納会日の5営業日後
受 渡 方 法	① 期日受渡し ② 早受渡し ③ 合意受渡し ④ 合意早受渡し	① 期日受渡し ② 早受渡し ③ 合意受渡し ④ 合意早受渡し
受 渡 場 所	① 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県及び北海道に所在する指定倉庫 ② 受渡当事者の合意に基づく受渡場所	① 大阪府、兵庫県、京都府及び奈良県に所在する指定倉庫 ② 受渡当事者の合意に基づく受渡場所
立 会 時 刻	前場、第1節(9:00)、第2節(10:00)、第3節(11:00) 後場、第1節(13:00)、第2節(14:00)、第3節(15:00) 計6回	前場、第1節(9:10)、第2節(10:10)、第3節(11:10) 後場、第1節(13:10)、第2節(14:10)、第3節(15:10) 計6回
取 引 単 位	6,000kg(100俵・200袋)	3,000kg(50俵・100袋)
受 渡 単 位	12,000kg(200俵・400袋) ※早受渡しについては6,000kg(100俵・200袋)も可。	3,000kg(50俵・100袋)
呼 値 及 び 呼 値 の 単 位	1俵(60kg) 10円刻み	1俵(60kg) 10円刻み
値 幅 制 限	① 値幅制限額:300円 ② 値幅制限額の拡大について 最終節に2限月以上(当限除く)、値幅制限に達した場合、値幅制限額300円に100円を加算した額400円を翌営業日の制限額とし、連続2営業日続いた場合は更に100円を加算した額500円とし、当該状況が継続する限り同様とする。翌日、最終節に2限月以上(当限除く)値幅制限額に達しなかった場合には、段階的に400円、300円と戻すものとする。 ③ 値幅制限の解除 当月限納会日の属する月の11日以降	① 値幅制限額:300円 ② 値幅制限額の拡大について 最終節に2限月以上(当限除く)、値幅制限に達した場合、値幅制限額300円に100円を加算した額400円を翌営業日の制限額とし、連続2営業日続いた場合は更に100円を加算した額500円とし、当該状況が継続する限り同様とする。翌日、最終節に2限月以上(当限除く)値幅制限額に達しなかった場合には、段階的に400円、300円と戻すものとする。 ③ 値幅制限の解除 当月限納会日の属する月の1日以降
ハナ上げ枚数	1番限は100枚以内、2番限以降は200枚以内。	1番限は100枚以内、2番限以降は200枚以内。
証 拠 金	㈱日本商品清算機構(JCCH)が決定。 http://www.jcch.co.jp/span/?po=1	㈱日本商品清算機構(JCCH)が決定。 http://www.jcch.co.jp/span/?po=1

参 考

参3 米穀の早受渡しに関するタイムスケジュール

(東京コメ)



(大阪コメ)

